

No.	12-2-11	場所	中川村「天神橋」	次世代への継承キーワード
名称	破壊された天神橋			避難行動
災害現象	橋梁の被災、土砂流出			河川 四徳川
補足事項				支流

- 諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 **中川村** 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要

中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。

●体験談：当時 中川村中川東中学校2年生

今度の災害で僕たちの中川村はそうとう大きな被害を受けた。中川村の内でも四徳や桑原の方の被害は特に大きかった。僕は今度の災害について次のような事を思った。

僕たちの住んでいる中川村には山がたくさんある。だがその山もはげ山や木を切ったままで植林をしていない山がたくさんある。

だから今度のように急にたくさんの雨がふったような場合には、降った雨が一度にせまい谷川に流れこんで下流の方へ土砂といっしょに流れ下るのだと思う。

また植林していない山は木の根が残っていないために、大雨がふったり長く雨が降り続いたりすると、地ばんがゆるんで土砂くずれをおこす。そのためにおしながされた土砂が家屋や田畑をうずめ、時には尊い人命までもうばってしまうのだと思う。

（「濁流の子」より）

記録



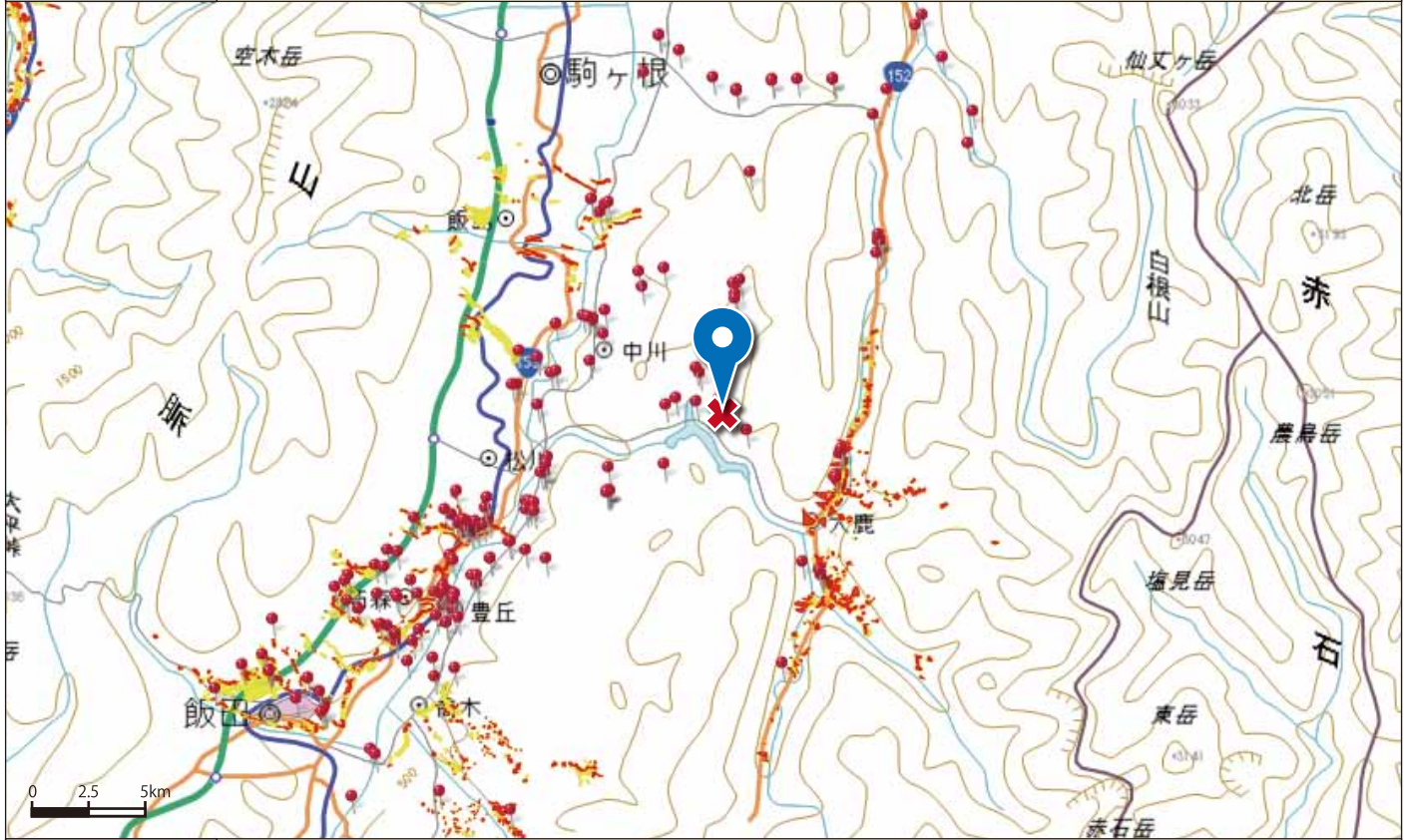
土砂の流失により、破壊された天神橋

出典	「濁流の子」p.76		
備考			

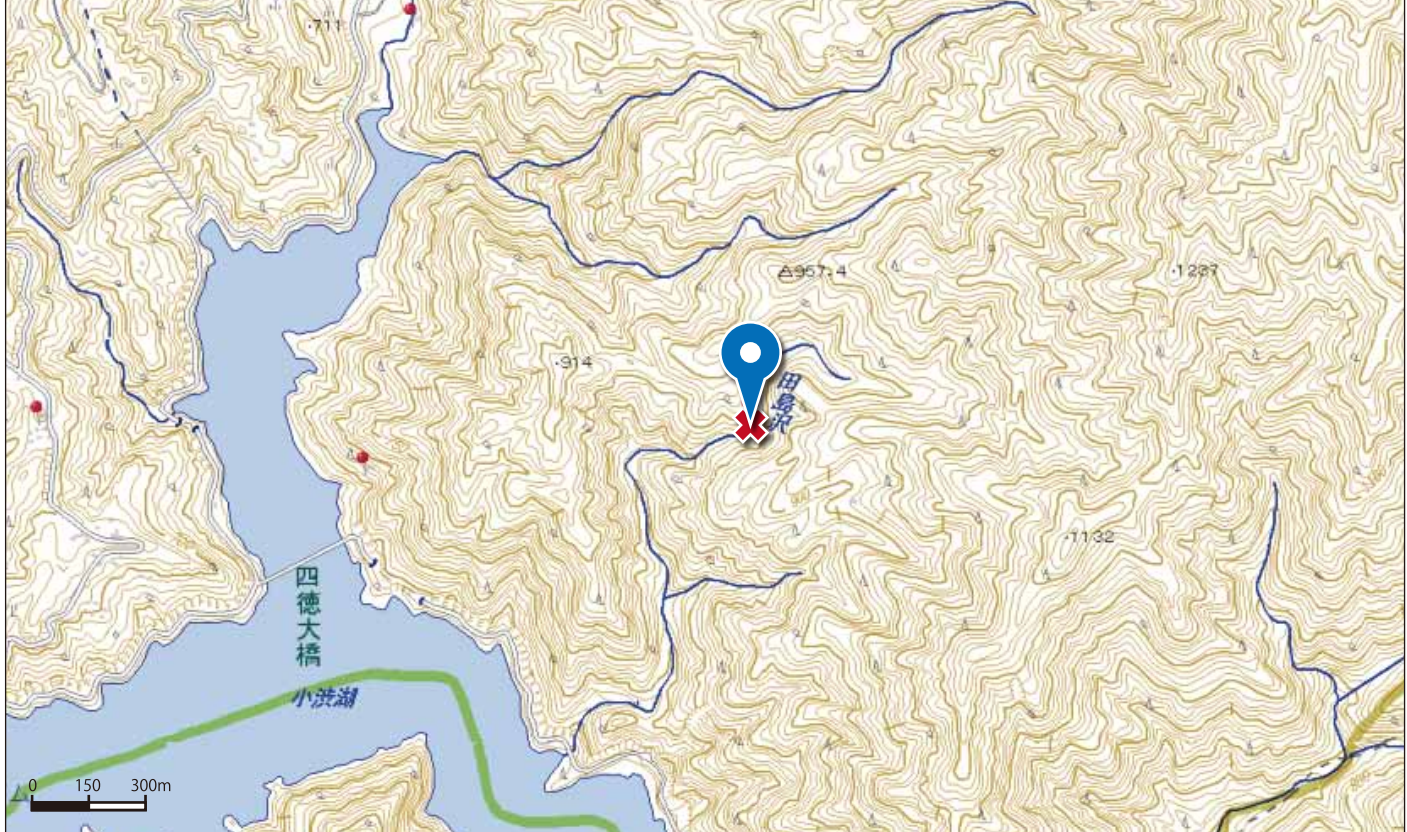
No.	12-2-11	場所	中川村「天神橋」	緯度	35.614883
-----	---------	----	----------	----	-----------

名称	破壊された天神橋			経度	137.999695
----	----------	--	--	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	<p>上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。</p>
----	--